

はまなす句会（九月二十九日）（第百十五回）

独りごとひとり合点の秋の暮

圭二

些事こなしいくとせ過ぎぬ曼殊沙華

菊枝

秋の草わずかな丈にも実をつけて

由美子

刈田あと一面匂う日暮れ時

久子

道半ば戻ることなく曼殊沙華

克司

秋風の後期高齢諭すごと

玲子

ひっそりと花ともなれぬ吾亦紅

則子

